

知多南部広域環境センター 建設工事だより

令和3年4月発行 第6号

知多南部広域環境組合

(構成市町：半田市・常滑市・
南知多町・美浜町・武豊町)

センターの愛称が
ゆめくりん

に決定しました！

新ごみ処理施設の愛称は「ゆめくりん」に

令和2年10月～11月にかけて、知多南部広域環境センターの愛称を募集したところ、111作品のご応募をいただき、最終選考の結果、武豊町在住の長谷川雄紀さんからの応募作品「ゆめくりん」が最優秀賞に選ばれました。

この愛称には、「ごみ処理＝未来をつくる明るいものであること」、新ごみ処理施設が「クリーンな施設」という意味が込められています。

このたび選ばれた愛称は今後、施設のサインや看板、パンフレット等に掲載・表示していく予定です。
知多南部広域環境センター「ゆめくりん」を末永くよろしくお願いいたします。



(完成イメージ図)

▶ 工事工程

年度	令和元(2019)			令和2(2020)				令和3(2021)			令和4(2022)	
	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～	7～	10～	1～	4～
土木建築工事	←			←				←			←	
プラント工事	←			←				←			←	
	←			←				←			←	
地下水モニタリング	←			←				←			←	

管理棟・計量棟・洗車場・車庫
 ランプウェイ(西側) ランプウェイ(東側)
 破碎機等据付 焼却炉・ボイラー・排ガス処理設備など機器設置
 試運転 供用開始
 採水:5月、8月、11月、2月

▶ **現在の工事状況** 1年前の定点写真と比較しました



1年後

1年前の3月時点（左写真）では、地下部分までの工事が進んでいる状況ですが、1年後の3月時点（右写真）では、工場棟の外観がはっきりとわかるまでに建築工事が進んでいます。工場棟の手前に白く見える地面は、管理棟の基礎コンクリートです

（近景が右下写真）。手前には発電した電気を送る鉄塔が建ち、太陽光発電施設を設置する築山が造成され始めています。



▶ **工場検査ピックアップ** 主要機械を製作する工場での検査の様子です

R2.12.11 アルミ選別機
外観・寸法・運転検査 福岡県太宰府市



不燃・粗大ごみが破碎された後、その破碎物は可燃物・アルミ類・鉄類・不燃物に選別されます。このうちアルミを磁力で選り分けるのはたらしをするのがアルミ選別機です。この日は製作されたアルミ選別機が正常に動作を行うかどうか等を確認しました。



アルミ選別機

R2.12.15 ボイラードラム・各種管寄せ 外観検査 愛知県豊橋市

ボイラードラムは、焼却施設の主要部分である「ボイラー」の最上部に位置し（右ページ参照）、蒸気タービンとボイラーを行き来する水のターミナル駅のような役割をする場所です。

この日の検査では、ボイラードラムやボイラー周辺のパーツが輸送時に変形が生じていないか、錆が出ていないか等を確認しました。右上写真はボイラードラムの中に入って溶接部等の確認をしている様子です。



R3.3.12 管理棟鉄骨 寸法・外観検査・溶接部検査 愛知県半田市



組合の事務所や、環境教育を行うための部屋がある「管理棟」の工事が昨年12月から開始しています。この日は管理棟の主要な柱や梁を製作している工場に赴き、柱となる鉄骨が設計通り作られているか、溶接部に欠陥が生じていないかを確認しました。



令和3年3月現在、工場棟各階においては部屋ごとの仕切り壁や電気設備関係の配管工事が進められています。外観は一部の外壁塗装が終了し、足場が撤去されて完成形を少しだけ見ることができます。さらに現場では、西面（正面）から向かって右手の飾り壁も施工済みのため、足場の向こうに出来上がりのひし形模様の外壁をうっすらと見ることができるようになりました。

プラント機器では、1月より膨大な種類のボイラーパーツが続々と搬入されており、ボイラー下部から順に据え付け・溶接が行われています。2月には排ガス処理設備の主要機器である「ろ過式集じん器」の据え付けが行われました。巨大なクレーンで吊り上げられたパーツは慎重に運ばれ、無事に工場棟の7階部分に据え付けられました。

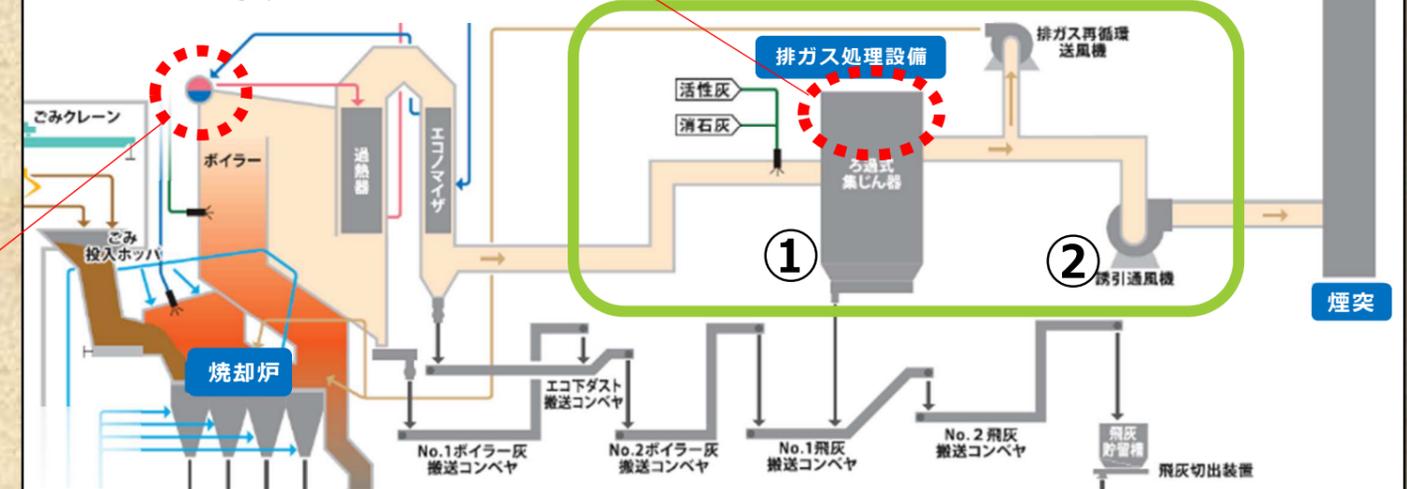


令和3年4月～6月においては、3F可燃ごみプラットホームへ上るランプウェイ（東側）や、管理棟及び付属棟の建設工事、ボイラーパーツの据え付け・溶接工事、蒸気タービン発電機及び周辺機械の据え付け等が予定されており、今後も施設完成に向けて続々と主要工事を進めていきます。

令和3年4月～6月においては、3F可燃ごみプラットホームへ上るランプウェイ（東側）や、管理棟及び付属棟の建設工事、ボイラーパーツの据え付け・溶接工事、蒸気タービン発電機及び周辺機械の据え付け等が予定されており、今後も施設完成に向けて続々と主要工事を進めていきます。

▶ **主要機械紹介**

（ごみ焼却のフロー図）



①【ろ過式集じん器（ろかしき-しゅうじん-き）】



焼却炉・ボイラーからの排ガスに活性炭と消石灰を吹き込み、排ガス中に含まれるダイオキシン類等の有害物質を、ろ布と呼ばれる織布や不織布を用いてばいじんと共にろ過捕集する装置。バグフィルタとも呼ばれる。

②【誘引通風機（ゆういん-つうふう-き）】



内蔵された誘引ファンにより排ガスを引き込み、煙突へと導く機械。他の送風機と合わせて、空気の流れをコントロールする。



【活性炭貯留槽・消石灰貯留槽】

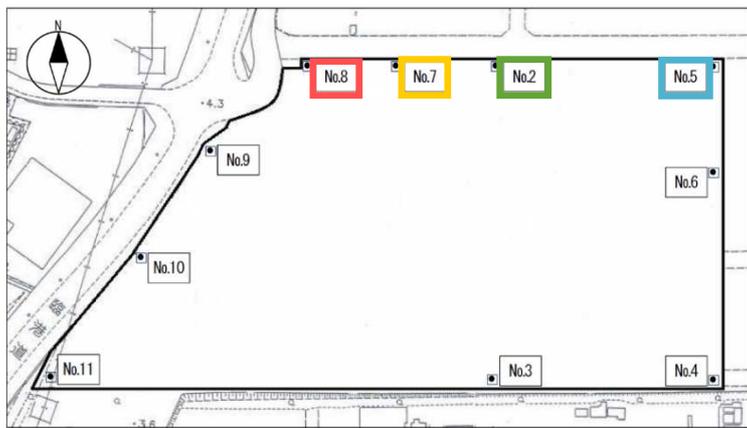
（かっせいたん-ちよりゆうそう・しょうせつがい-ちよりゆうそう）
ろ過式集じん器で吹き込む粉末状の活性炭及び消石灰を貯留するタンク。

▶ 地下水モニタリング

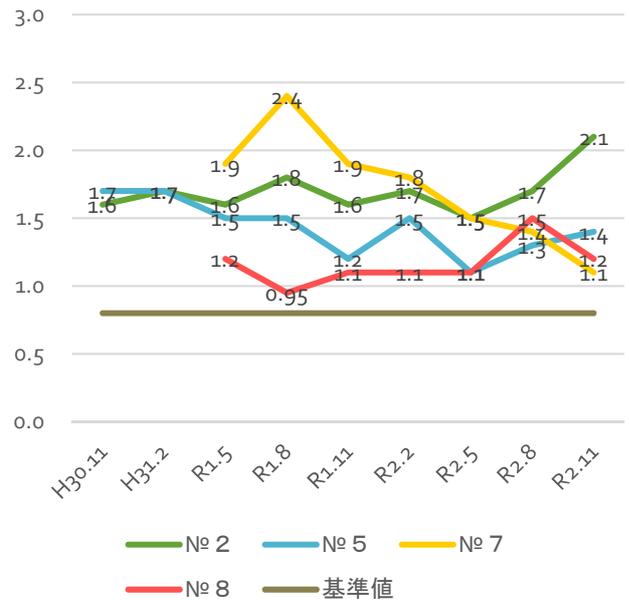
(令和2年11月採水)

地下水モニタリングについては、平成31年3月公表の土壤汚染等調査結果に基づき、愛知県の指導のもと令和元年5月分から分析物質及び観測井戸を追加し実施しています。

観測井戸位置図



ふっ素及びその化合物 (mg/L)の推移



① 重金属等

重金属等モニタリング結果 (令和2年11月採水結果報告書より)

調査の結果は右表のとおりです。これまで同様、No.2,5,7,8の4つの観測井戸において、ふっ素及びその化合物の環境基準超過がありました。濃度の推移は右上のグラフのとおりです。

山留・杭工事が終了した令和元年10月以降においても、数値に大きな変動はなく推移しています。

今後も4分析項目の数値に大きな変動はないが定期的に調査してまいります。

観測井戸 (井戸No.)		No.2	No.5	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	地下水環境基準 (mg/L)
地下水位	GL-m	2.04	2.14	1.59	1.66	1.50	1.35	1.29	
	T.P.m	1.85	1.51	1.98	2.01	2.21	2.40	2.36	
分析項目	ふっ素 (mg/L)	2.1	1.4	1.1	1.2	0.32	0.31	-	0.8
	鉛 (mg/L)	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	砒素 (mg/L)	<0.005	0.009	<0.005	0.008	<0.005	<0.005	<0.005	0.01
	六価クロム (mg/L)	<0.01	<0.01	-	-	-	-	-	0.05
備考	採水日	11/5	11/5	11/5	11/5	11/5	11/6	11/6	

赤字は基準値超過したことを示す 「-」は測定対象外項目

② ダイオキシン類

調査の結果、以下のとおり環境基準超過はありませんでした。(単位: pg-TEQ/L)

No.2...0.075、No.3...0.032、No.4...0.061、No.5...0.053、No.6...0.037 (環境基準...1)

※過去の推移については組合ホームページをご確認ください。

● 工事車両の出入口が変わりました。

令和3年2月から工事車両の出入口が建設地北側に移動しました。この出入口は供用開始後もごみ搬入車両(ごみ収集車・一般のごみ持込み車両)が出入りする門となります。

今後も交差点の通行には細心の注意を払い、誘導員の配置及び工事関係者への安全の周知を徹底していきます。



発行: 知多南部広域環境組合 所在地: 知多郡武豊町字長尾山2番地 電話: 0569-84-1007 FAX: 0569-84-1008

メールアドレス: nanbukouiki@etude.ocn.ne.jp ホームページ: <http://www.chitananbukouiki.server-shared.com/>